

Letters

レターズ / 加入者や保護者の皆さんから寄せられたお便りをご紹介します。

愛知県

S・Kさん（母）

日頃より大変お世話になっております。この度次女が育成給付金終了となり、完了給付金と図書カードをいただき、ありがとうございます。

娘は生後1カ月半で父親を亡くし、19年が経ちました。当時は毎日泣いて、涙が枯れるほど泣く経験もしました。いろいろ大変なこともありましたが、主人が残してくれた宝物、2人の娘をしっかり育てないのと、母であり時には父役となりながら、過ごしてきました。現在娘は管理栄養士を目指し、京都で寮生活をしながら、大学で新しい友達もでき、充実した日々を過ごしているようです。

このように大学まで経済的に不安なくこれたのも、皆様のご支援のおかげだと、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。長い間、私たち親子を助けていただきありがとうございました。

大阪府

匿名希望さん（母）

この度は、中学校入学にあたり、お祝い金と図書カードを送って下さり、ありがとうございます。

残念ながら、亡くなった父のことはあまり覚えていない子ですが、3歳だった子が中学生になるまで成長しました。

姉が中学生になってから、一人であることが多かったため、本が好きな子になりました。給付金を大切にに使わせていただきます。

世の中もどんどん変化していく中、芯のある大人に成長していくことを願い育てていきます。ありがとうございます。

神奈川県

K・Mさん（母） K・Nさん（加入者）

♡お母さまより

この度、育成給付金完了のお便りをいただきました。長い間、大変お世話になり、ありがとうございます。突然の出来事で様々な不安を抱える中、基金のご支援が大きき心の支えとなり、おかげさまで娘も希望の進路へ歩むことができました。このご恩をいつまでも忘れずに、これからも親子共々、前向きに生きていきたいと思えます。本当にありがとうございます。

♡加入者さまより

長きに渡り沢山の方々にお世話になり、感謝申し上げます。

皆様のご支援と温かいお心遣いに支えられ、希望の大学に進学し、夢への第一歩を踏み出すことができました。

そして育成給付金の給付完了のお便りをいただき、さらに身の引き締まる思いです。いつか困っている人の役に立てるよう、一層精進してまいります。ありがとうございました。

匿名希望さん

いつもお世話になっております。この度娘が基金終了とのこと、長い間ご支援いただきありがとうございました。

加入した当時はまだ夫を失った気持ちの整理もつかず、悲しみや不安、事故の相手への怒りなどで心が休まらない毎日でした。けれど時間が経ち、子ども達との暮らしの中に喜びや楽しみを見つけ、家族全員で楽しい毎日を作ってこれたと思います。

現在基金に加入している、同じ境遇の皆さんにも励ましの気持ちをお送りしたいです。ありがとうございました。



埼玉県

T・Sさん（母）

この度は基金完了に際し、お祝いをいただき誠にありがとうございました。

夫が亡くなって、今年13回忌を迎えます。小学生だった息子にはもっと父の働く姿を見せてあげたかったと思っておりました。

そんな息子も小学生の頃からの夢が父と同じ職業に就くことでした。夢は変わらず、専門学校へ通っています。そして、来年の春には、遠く離れた土地で父と同じ職業に就きます。

小さいながらも父の背中を見て、夢を実現させたことに嬉しく、誇らしく思います。夫も、自分と同じ道を選び歩んでくれることをとても喜んでいてと思います。

息子が夢を叶えられたのも、多くの方々の支えがあったからこそだと感謝の気持ちでいっぱいです。長い間、本当にありがとうございました。

滋賀県

K・Yさん（加入者） K・Yさん（母）

☺加入者さまより

安定したご支援のおかげで勉強に励むことができ、大学に進学することができました。好きな工業の勉強をし、社会で生き抜く力を習得しています。

小さい頃から、ご支援ありがとうございました。

♡お母さまより

温かい、途切れないご支援をありがとうございました。

父親の分までしっかり育てようと決めて17年間、家族で奮闘しましたが、あっという間でした。

皆様に支えられた分、子ども達は社会に出て支える立場になり、恩返しできる大人になれそうです。本当にありがとうございました。

岡山県

A・Yさん（祖母）

この度、交通遺児等育成基金終了のお知らせをいただきました。長年にわたり大変お世話になり、ありがとうございました。今年の夏は大変な猛暑で体調を崩し、お礼が遅くなって申し訳ございません。

娘が交通事故で亡くなったとき、孫は2歳でした。61歳からの2度目の子育ては大変でした。孫には発達障害があり、病院や同じ障害を持つ親の勉強会に参加したり、色々ありました。その孫も、高校卒業後、1年間就労移行支援センターへ通い、今年の5月からスーパーの総菜部門へ就職することができました。

私ももうすぐ79歳になります。少し肩の荷が下りた気がしますが、もう少し行く末を見守ってやらねばと老体に鞭打っている昨今です。本当にありがとうございました。末筆になりましたが、皆様のご健康をお祈り申し上げます。



スマイルズ秋号「となりのレターズ」へのご感想をいただきました

福島県

D・Mさん（母）

個人寄付者様からのメッセージを拝見しました。お子様、親御様、ご兄弟を亡くし、つらく苦しい思いの中、交通遺児のためにと寄付してくださったことは、素晴らしいことであり、また、感謝もしきれません。ありがとうございました。

私自身、妊娠中に夫を事故で亡くしました。生まれてきた子は今年で3歳。相手方との裁判がまだ終わっていないため心身ともに休まらず、いつ落ち着ける日が来るのかと不安な日々です。

しかし、私も交通遺児と、そのご家族の役に立ちたい。そう思うことができました。死を乗り越えることは難しいです。でも、どうか皆様のお気持ちが少しでも楽になりますように。前に進むことができますように。



となりのレターズ

みんながとなりに寄り添う「もう一つ」のLetters

前号から引き続きまして、今号も個人のご寄付者様からのメッセージを紹介させていただきます。ご寄付をいただいた多くの方々の中から、今回ご紹介させていただきますのは、実際に交通事故に遭われたご本人様からのメッセージとなります。また、それに加えて令和4年度の寄付金額とその内訳、そして、その使い道に関してもここでご報告させていただきます。本年度も、さまざまな方々から本当に多くのご支援を賜りました。スタッフ一同、この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

第8回 個人寄付者様からのメッセージ & 寄付金データの報告編

【ご寄付をいただいた交通事故被害者様からのメッセージ】

● 私も事故に遭いました。事故でつらい思いをしている子どもたちのためにお役立てください。

（千葉県／K・Yさん）

● バイク運転中に事故に遭い、九死に一生を得ました。ようやく後遺障害の認定も決まり、示談金をいただきました。運転をする方全員からの応援の尊いお金です。ほんの少しですが、一部を交通遺児の皆さんのために役立てていただければと思います。

（福島県／F・Hさん）

● 私も交通事故に遭い、最近ようやく示談も終了しました。私は自転車で、相手は車でしたが、今回自分への戒めもこめて、事故に関係する団体に寄付した次第です。私も車を運転するので、今回の事故で、両者とも辛い思いをしますし、今後は、運転には、気をつけようと、再認識した次第です。少額ですが、事故にあわれた方に役立てて頂ければ幸いです。事故のない社会になるよう祈っています。

（神奈川県／N・Kさん）

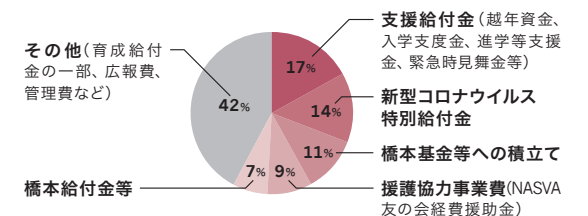
令和4年度の寄付金のデータと使い道

令和4年度(令和4年4月～令和5年3月末日)の寄付金集計と支出の割合は、以下の通りです。寄付金は、交通遺児および交通重度障害者のお子様のために活用させていただきます。

● 寄付金額とその内訳

個人賛助会費	440千円	23件
法人賛助会費	8,600千円	42件
個人寄付金	19,256千円	133件
法人寄付金	109,797千円	336件
計	138,093千円	

● 寄付金の使途について



〈編集部より〉

平素より当法人事業へのご理解とご支援に大変感謝申し上げます。前回に続き、これまでに寄付者様からいただいたメッセージを掲載いたしました。寄付者様からは、支援の回数や金額に関わらず、交通遺児等への励ましとかけがえない優しさをいただいております。皆様のご厚情に重ねてお礼申し上げます。寄付金の使い道としては、主に毎年実施している支援給付事業の原資とし、本年度からは

それぞれの給付金額を増額いたしました。また、令和2～4年度に実施した「新型コロナウイルス特別給付金」では、感染症の拡大により不自由な生活を強いられていた交通遺児達の暮らしへ役立てていただくよう、寄付金から総額約1億円以上の給付金をお贈りしました。これからも全国の皆様からのご寄付を、有意義に交通遺児たちへの支援に活用させていただきます。

